



市議会うんなん

No.4
2005.10.20

五世代家族 長寿万歳!!



その笑顔。
いつまでも
お元気で

104歳「トクさん」を囲んで木次町新市深田さん一家

平成17年
9月定例会

一般会計

24億7,000万円の大型補正 — 2

～災害復旧費に5億9,000万円～

市長所信表明・主な議案・一般会計補正予算・その他協議事項

委員会報告

総務委員会	委員長 渡部 彰 夫	4
教育民生委員会	委員長 吉井 傳	4
産業建設委員会	委員長 深津 史 志	5
ダム対策特別委員会	委員長 周 藤 強	5

ここが聞きたい 一般質問 — 6

24名の議員が質問

村尾晴子・深津史志・佐藤嘉夫・小林真二・石川幸男・光谷由紀子
吉井 傳・板持達夫・加藤一成・岡田盛行・金山寿忠・細田 実
内田郁夫・山崎正幸・星野 智・安原重隆・藤原政文・加藤欽也
岩田隆福・藤原信宏・足立昭二・松浦保潔・堀江治之・深田徳夫



議員活動報告 — 16

議会広報編集委員会研修・島根県市議会議員研修会
議会運営委員会視察報告

請願・陳情 編集後記 和録のみるさと「零南」の語彙を知りたい

一般会計24億7,000万円

平成17年
9月定例会

の大型補正

災害復旧費に
5億9,000万円



永井隆平和賞 授賞式

9月雲南市議会定例会は、平成17年9月8日から28日までの会期で行われました。一般質問には24名の議員が立ち、活発な論議を繰り広げました。

市長所信表明

雲南市清流再生計画

この認定を受け、公共下水道事業、農業集落排水事業、合併浄化槽事業について、年度間の事業量の変更、事業間の調整が可能となった。一層効

率的に整備を図ることができ、今後下水道普及率の向上と、河川の再生美しい川づくりを目指す。

地域自主組織

各総合センターで積極的な取り組みを行っている

るが、現在大東町で7組

織、木次町1組織、吉田

町1組織、掛合町7組織

が立ち上がった。他地域

でも準備会を設置し努力

されている。市民活動団

体の登録は、まちづくり

グループ51団体、

NPO法人1団体とな

っている。

中国横断自動車道

尾道松江線

本路線の今年度予算は

37億円で、三刀屋木次

ICから吉田掛合IC間の

用地買収のため地権者の

皆様に説明会を開催して

いる。来年度から本格的

に工事施行となる。吉田

掛合ICから県境間は地

権者の皆様に、用地立ち

入りを了解いただき、現

在測量調査中である。

尾原ダム建設事業

ダム本体工事着工に向

けた準備は順調で、11月

中には斐伊川本流の流れ

を仮排水路トンネルへ切

り替える「転流」が行わ

れる。こうした中、国・

県による説明会を地元尾

原地区ダム対策同盟会」

と「尾原ダム三団地連絡

協議会」を対象に実施し

た。

まちづくり交付金事業

平成16年度から実施

しているが、市の財政事

情により事業費の圧縮や

新規採択地区の先送りを行

う。

アスベスト対策

社会的な問題となって

いるアスベストは、昭和

50年代までに建築され

た建築物に断熱材とし

て使用された。市の施設

について調査を実施して

いるが、一部アスベスト

使用の疑いがあり、使用

制限などさらに詳細な調

査を行う。

子どもの

居場所づくり事業

今年度文部科学省の委

託事業として、市内40

か所を実施することとし

た。家庭・学校・地域が

一体となり居場所ごとに

実行委員会が組織された。

地域の特色を活かした活

動が展開されており、一

層の充実を図りたい。

永井隆平和賞

第1回雲南市「永井隆

平和賞」の発表式典を9

月11日に行う。愛と平

和についての作文募集は

全国32都道府県より1、

935点の応募があり、

愛と平和について全国発

信ができたと考える。

注・アスベスト

自然界に存在する繊維状の鉱物。耐火・防熱性吸音性に優れ、1960～80年代まで使用された。発がん性の高い青と黒アスベストは95年に輸入、製造、使用が禁止、発がん性の低い白アスベストも昨年禁止となった。

アスベストを吸い込むと20年から50年後に悪性胸膜中皮腫などになる可能性もある。リスクが高いのは、飛散している状況で働いている人で、予防措置を十分に講じる必要がある。

主な議案

雲南市住民基本

台帳カード利用条例

市町村は条例の定めるところにより、住民基本台帳カード（住基カード）の空き領域を利用して、独自のサービスを行うことができず。（財）地方自治情報センターは、全国の市町村において住基カードを利用した住民サービスを提供する、ICカード標準システムを開発し、希望する市町村に無償で提供しています。

雲南市の住基カードは「転入転出の特例」「住民票の写しの広域交付」の利用に限られていますが、ICカード標準システムにより次の二つのサービスが可能となります。この場合、住基カードを取得することが前提となります。

地域通貨に関するサービス

利用者は、インターネットまたは直接窓口（市

役所）で申請し地域通貨参加者として登録します。当面は公共施設の利用や特産品購入によってポイントが与えられ、割引サービスが受けられます。

避難者情報サービス

本人の住基カードで避難者情報登録をします。災害時に避難所でカードを提出することによって、本人の居場所が確認できるシステムです。

一般会計補正予算

9月定例会に提出された補正予算額は、24億7,130万円が計上され、

予算総額は、312億2,590万円となります。

主なものは次の通りです。

（歳入）

固定資産税

2,000万円

地方交付税

8億1,273万円

災害復旧費関係

3億4,892万円

笑寿苑整備助成

6,091万円

まちづくり交付金

7億590万円

たち上る産地育成支援

6,993万円

減債基金繰入金

2億1,895万円

繰越金

2億70万円

市債

3億350万円

（歳出）

住基カード多目的利用事業

6,003万円

CATV事業運営負担金

1,354万円

特養・笑寿苑建築事業

2億8,440万円

介護保険事業負担金

1,571万円

たち上る産地育成支援

6,993万円

まちづくり交付金事業

4億3,915万円

災害復旧費

5億9,268万円

市債償還（繰上償還分）

7億5,314万円

その他協議事項

雲南警察署の 移転候補地

雲南警察署は、三成警察署、掛合警察署、木次警察署が統合し今年4月に誕生しました。しかし現庁舎は狭あいで老朽化しているため、移転新築にむけ候補地の選定が進められてきました。

候補地として三刀屋町畑田地区を選定し、雲南警察署に対し推薦しました。従来の三刀屋総合センター建設計画を見直し、農村環境改善センターは撤去して、15haの土地に警察署と総合センターを建設する計画です。

第三セクター事業等

経営基本方針

従来の第三セクター及び公益法人に対して単なる行政補完的な業務や施設管理のあり方を見直し、行財政改革や市民協働の視点から、効率的な運営となるよう組織・事業の再編を図る必要があります。

す。こうした観点から経営の基本方針を定めるものです。

【対象となる法人】

（株）ダイト、（株）遊学木次都市開発（株）、木次の駅（株）、（株）みとや（株）吉田ふるさと村、掛合農村開発（株）、（財）三刀屋農業振興センター、（財）鉄の歴史村地域振興事業団

介護保険制度の改正

介護保険制度がスタートしてから5年が経ち、介護サービスを利用される方は年々増加しています。平成18年4月から、介護保険制度が予防を重視したしくみに大きく変わります。制度改正のうち、平成17年10月から適用されるものは次の通りです。

高額介護サービス費の負担限度額の一部変更

高額サービス費は上限を設定し負担の軽減を図るものです。10月の改正により、非課税世帯の区分で一部上限が低く設定

されます。

施設での「居住費」が利用者負担

これまで多床室での居住費の負担はありませんでしたが、3人部屋など多床室で月額1万円、個室で6万円程度の負担となります。（低所得者の軽減措置あり）

若者定住

促進住宅の建設

島根県住宅供給公社から建設の提案があり、市の財政負担が少ないこと、定住促進に寄与することなどから候補地の検討に入りました。その結果、大東町と掛合町の市有地に建設することになりました。大東町は元職業訓練校跡地12戸、掛合町は総合センター隣接地4戸が計画されています。



総務委員会

委員長 渡部 彰夫

条例

雲南市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例制定

この条例は、電子申請等受付システムを雲南市で本年度内に運用開始し、従来書面により行ってきた雲南市各機関への申請等を、電子情報処理組織等を利用する方法により行ない、市民の利便性の向上と行政運営の簡素化、効率化を図るため制定するものです。

施行日

平成18年1月1日

以上、異議なしで可と決定。

補正予算

平成17年度一般会計

(関係分)

質問 住基カード多目的利用実証実験事業費約6千万円が計上されているが、費用対効果から住民

サービスの向上が期待出来るか。また、提供できるサービス項目について伺う。

答弁 市が発行する住民基本台帳カード(住基カード)の空き領域を利用して、独自のサービスを行うもので、地域通貨モデルシステム及び避難者情報サービスの二つを考えている。住基カードの普及が先決であり、推進に努めたい。

実証実験の期間は、本年12月から18年1月の間とし、システムの作動・運用確認を主としている。申込み方法等については、自宅パソコンなどの端末からの口座開設や、市役所窓口口座の開設の方法を考えている。

事業費財源は、実証実験の段階であり、地方自治情報センターの助成金6千万円を充てる。なお、本格的稼働は、

来年4月からを予定している。

質問 職員給与とカット及び職員削減等の職員組合との交渉状況について伺う。

答弁 特別職の報酬や管理職の手当については実施しているが、一般職員給与とカット平均10%については交渉中である。

旅費に関しては、県内日当及び、県外旅費の滞在費は検討中である。

なお、現在給料については、昇給延伸や3ヶ年間の調整、人勤の取扱いなど複雑な運用があり、今後組合との交渉を引き続き行ない、理解と協力を得たい。職員の削減については計画通り行う。

所管の補正予算は総て原案のとおり賛成多数で可と決定。

条例

雲南市住民基本台帳利用条例の制定

この条例は住民基本台帳カード利用によって次の2点のサービスをするものです。

- 一、地域通貨に関するサービス
- 二、避難者情報サービス

質問 個人情報を守られるのか。費用対効果が出るのか。避難者システムは稼動出来るのか。

答弁 個人情報漏えいはない。電子自治体を目指すには重要だ。数日間にわたる避難には特に有効と考える。

雲南市加茂痴呆性デイスーツサービスセンター条例の一部改正

この一部改正は文言改正で痴呆性を認知症に改めるものです。



教育民生委員会

委員長 吉井 傳

補正予算

平成17年度一般会計

(関係分)

民生費3億4,500万円の主なものは、加茂笑寿苑増築と宇寿荘の修理費約3億円です。

意見 学校指導主事体制の継続、通級指導教室の充実強化、スボレク上位大会出場への配慮、教育施設の雨漏り等早急な対応をすべきである。

賛成多数で可と決定。



住民基本台帳カード





産業建設委員会

委員長 深津 吏志

本委員会には、平成17年度一般会計補正予算をはじめ、予算関係7件、平成16年度水道事業会計決算認定2件が付託され、いずれも原案どおり可と決定しました。

平成17年度
一般会計補正予算

産業振興センター立上げに1,100万円。

このセンターは、ふるさと産業の創出と雇用の拡大をめざすものです。企業活動の支援と、雲南市らしい産業起こしにより、定住の促進を図るものです。専門プロデューサーやアドバイザーの報酬などが含まれます。センターの事務局体制について、庁内だけで良いのか、という質問がありました。答弁として、先ず発足させて、今後外部からの登用を含めて、充実させたいとの事であり、

了承しました。
まちづくり交付金事業
見直し4億4,000万円

まちの活性化再生を目的に進められています。財政事情から残事業を40%削減することとして検討され、国へ変更要望されていました。今年度は国からの配分どおり実施することとして追加事業費が補正されました。また、加茂中地区の新規採択を受け今年度から着手されることになりました。

平成16年度水道事業
会計決算認定

水道料の未納金の処理
について

未納金は年々増加しており7月末で1,138万円となっています。不公平を生じ、財政上も問題があり、この処理の考え方を管理者にただし



今では貴重な稲八
(吉田町菅谷地内)

した。
答弁として、地区担当を決め、未納者には保証人をつけ、分納を求めている。また近隣市では6ヶ月滞納があれば給水を止めているので、雲南市でも検討しているとのことであり了承しました。

補正予算の審査

平成17年度雲南市ダム対策事業特別会計補正予算(第1号)

この補正予算は、一般会計からの繰入金及び平成16年度同特別会計決算に基づく繰越金の補正を行うものです。

視察研修

7月22日にダム本体の掘削工事が行われている飯南町の「志津見ダム」を視察しました。

9月29日埼玉県秩父市にある、完成して6年になる「浦山ダム」と、先頃ダム本体が完成し、湛水開始直前の「滝沢ダム」を視察しました。

秩父市には、埼玉県や首都圏の水瓶である荒川水系で4箇所ダムがあります。「市」とダムの



ダム対策特別委員会

委員長 周藤 強

設置管理者である「水資源機構」との連携で、首都圏から2時間の地の利を活かした観光産業を中心に、「ダムを活かしたまちづくり」で地域活性化への取り組みがなされています。

要望活動

9月30日に議長と8名の委員全員で県選出国會議員へ「尾原ダム建設事業の促進」について要望活動を行いました。

平成18年度予算必要額を確保し本工事業の早期完成を図る。

「地域に開かれたダム整備計画」に基づく周辺整備及び活性化施策を推進する。

地元業者の受注機会の確保など、雲南市にダム建設事業による経済効果が現れるよう特段の配慮をする。

ダム本工事に伴う騒



竹下政務官に課題解決を強く要請

音、振動対策に万全を期すなど、周辺住民にとって安全で安心な工事を行う。
当日は、細田、竹下、亀井、各衆議院議員や青木、景山、両参議院議員の各事務所を訪問し、特にこの4点について強く要望しました。
竹下巨環境大臣政務官は、尾原ダム完成後の周辺地域の活性化について、生前の竹下元総理の話 exchanges、「尾原ダムへの熱い思い」を語られました。

ここが聞きたい

一般質問



24名の議員が問う



9月定例会 議会風景



問 雲南市の幼稚園、

学校で手わざが簡単で安価なうがいによる虫歯予防にフッ素の導入の考えはないか。

市長 教育委員会・学校・歯科医師・保護者等の皆様の理解を得て、協議をしていく。
問 公立雲南病院に、

女性専門外来の設置は

答 毎週金曜日女性外来実施

木次町 村尾 晴子 議員

女性専門外来の設置を望むが、市としての考えは。また生涯を通じた女性特有の悩みを相談できる女性健康窓口はあるのか。

健康福祉部長 女性スタッフだけの専門外来は医師の確保が厳しい現状だ。女性の医師や女性の臨床心理士と連携を図り、女

性に配慮した診療体制をとっている。リフレッシュ外来・ストレス相談として毎週金曜日に、プライバシーに配慮した相談対応がある。

問 介護保険制度の見直しによる寝たきりにならないための介護予防重視型の計画はどうする



問 アスベストについて民間の施設、家屋等についても調査がされているか。また解体の際に届出る等の条例をつくる考えはないか。

総務部長 窓口を強化し、現行法の中で解体時の届出等十分周知を図り問題

民間アスベスト対策は

答 問題に対し注意を喚起

大東町 深津 吏志 議員

に対する注意を喚起したい。

問 地区公民館、会館や体育館等が指定管理者の対象となるが、使用料が引き上げられたり、不便を感じるようにならないか。

総務部長 来年4月から

予定しているが、一挙に指定管理者に出来ないと思うが、十分調査検討して支障を来たさないよう行いたい。

問 市単独の小規模土地改良の需要が高いが予算の増額は考えられないか。また集落道から家



ケアポート吉田の水中運動

のか。温水プールでの筋力アップの取り組みはできないか。

健康福祉部長 新予防給付の対象者には、地域包括支援センターで協議し閉じこもり予防、うつ予防、認知症予防も合せて行う。プール利用した健康づくりは、身体教育医学研究所で取り組んでいく。

産業振興部長 予算の増額については財政上むずかしい。また、集落道から家屋までの木戸道については対応を考えない。



警察署移転、柿坂宅地造成は

答 畑田地区を推薦、県住宅公社で

木次町 佐藤 嘉夫 議員

問 農村環境改善センターを撤去し、国道54号平らまで埋立てると聞くが、まだ十分利用出来る改善センターをなぜ撤去か。改善センターの補償費と総事業費の額はいくらか。

民館の三つの機能を統合したセンターを建設する。改善センターの撤去補償費は売却代金で賄う。

問 大東柿坂分譲住宅団地40区画1万2、160㎡、㎡当り1万7、700円、販売額2億1、500万円、雲南市の事業として進入道路事業費が2億3、500万円、歳入より歳出が大きいのは問題だ。

は県住宅開発公社が代行施工し、後年に市が買い取る。2億3、500万円は債務負担行為を可決いただいているが、買取りには有利な起債を充当する。

問 上水道、下水道整備費も必要と思うが経費はどう負担するか。

政策企画部長 上下水道整備については、応分の受益者の負担を徴収する。

内田助役 警察署再編計画により三成、掛合、木次署が統合して狭隘になり、新築移転となる。三刀屋総合センター、環境改善センター、三刀屋公

政策企画部長 進入道路

バス事業2億円の見直しは

答 交付金削減を視野に検討

加茂町 小林 眞一 議員

問 生活バス事業費1億8、870万円、7事業社による運営を一元化し非効率な事業の見直しと、タクシー輸送との

「共生」の道はないのか。

政策企画部長 現在、旧6町村の運行形態を引き継ぎ25路線を運行。今まで生活路線確保対策交

付金を受けてきたが、制度改正により削減。多角的な視点から検討が必要になってきた。4月から市関係部局で「市民バス



「雲南」の語源由来知りたい

答 歴史的な背景探りたい

大東町 石川 幸男 議員

問 古来より地域の呼称として、使用されている「雲南」の語源由来を知りたい市民も多い。

「黄仲祥」の誕生地、三刀屋町に由来する記述文献も参考に、雲南市の物語をつくる歴史・文化・教育に役立つ語源を探ってほしいか。

市長 出雲部の南に位置することでの「雲南」は確かだ。

教育委員長 伝説神話等含めて雲南地域の事柄を伝えていくことは大事だ。

問 自然や歴史資源

交通対策会議「や助役、識見者13名による「雲南市公共交通対策協議会」を設置、検討している。

「共生」については、バス事業は高齢者の通院や通学・通勤が中心。共存共栄を考えている。

市長 市の観光振興課の協力や雲南広域連合との共催事業、広島紙屋町では大型テレビジョンによる観光情報や、イベント情報の発信も9月から

教育長 ふるさと教育も推進しており、語源の由来は学校教育現場でも共通の理解を持つことは大切と考える。

問 「住民基本台帳カード」を利用した「地域通貨サービス」が開始される。検証は充分か。今後目指すサービスは何か。

市長 12月から1月に実証実験を行い18年度へ繋ぐ。今は行政が行い運営や参加施設、愛称など協議中だ。電子自治体を目指し、住

の豊富な雲南市において観光振興の戦略と、岩倉遺跡整備の今後はどうか。

市長 県の観光振興課の協力や雲南広域連合との共催事業、広島紙屋町では大型テレビジョンによる観光情報や、イベント情報の発信も9月から

「共生」については、バス事業は高齢者の通院や通学・通勤が中心。共存共栄を考えている。

市長 市の観光振興課の協力や雲南広域連合との共催事業、広島紙屋町では大型テレビジョンによる観光情報や、イベント情報の発信も9月から

「共生」については、バス事業は高齢者の通院や通学・通勤が中心。共存共栄を考えている。

市長 市の観光振興課の協力や雲南広域連合との共催事業、広島紙屋町では大型テレビジョンによる観光情報や、イベント情報の発信も9月から

「共生」については、バス事業は高齢者の通院や通学・通勤が中心。共存共栄を考えている。

市長 市の観光振興課の協力や雲南広域連合との共催事業、広島紙屋町では大型テレビジョンによる観光情報や、イベント情報の発信も9月から

「共生」については、バス事業は高齢者の通院や通学・通勤が中心。共存共栄を考えている。



黄仲祥の掛軸



コストや効率での判断問題

答 サービス向上で積極導入

大東町 光谷由紀子 議員

問い 公の施設の管理運営を廃止、休止、民間譲渡、また指定管理者制度に見直すと方針が出された。コストや効率で考えられることは問題だ。公民館、図書館、保育園などは、個別法で管理権限が制限されている。給食センターも食育の観点や給食は教育の一環という立場からも重要な施設である。自治法の本旨に基づき施設は、直営で行え。

は、サービス向上につながるれば積極的に導入したい。

問い 介護保険制度改定で10月より施設入所者は、居住費、食費の自己負担の導入で高負担となる。また、要支援、介護

問い 本年11月1日に産業振興センターが設置される予定だが、その内容は。合併住民説明会では、民間人による所長、専属スタッフを置き、独立した機能を持つ組織とされてきた。今回の提案



暫定庁舎の増築をすべきだ

答 できるだけ我慢を

木次町 板持 達夫 議員

は産業推進課に置くことされている。目的達成が可能なか。

庁舎機能が分散していることは、不便であり、即効性、機敏性に欠ける。今日的に新庁舎建設の視界が定まらない今、暫定庁舎に隣接して庁舎機能を持つ施設の拡充が必要ではないか。

市長 産業振興センターの機能については、当初計画と変りはない。発足時は産業振興部に置くが、センターの機能が確定された段階で、独立した団体にシフトさせる。専門的知識を持つプロデューサーを起用したい。

市長 暫定庁舎が分散して不便であることは承知している。新市の組織整備を踏まえ、必要な拡充整備を図ることは認識しているが、厳しい財政状況下であり、その改善が重要。我慢も大切。



未着手オンリーワン急げ

答 財源確保し早く実現へ

掛合町 吉井 傳 議員

総務部長 保育園、給食センターは、組織機構見直しで検討する。個別法で限定されているものは、指定管理者制度の導入はできない。行政の役割と責任を十分認識し最適なサービス形態はどうあるべきかを軸として検討する。

問い オンリーワン事業は、市の一体感の醸成に不可欠だ。事業に大きく差違があり、未着手な町がある。考え方と実施計画を伺う。

結する。現在未実施が5事業あるが、財源を確保し早く進めていきたい。掛合のふるさと事業は16年度以降の事業、地域の拠点整備は統合小学校完成次第着工したい。

必要があるがどうか。

市長 地域建設計画に取り組み、事業実施することこそ目指す「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」に直

問い 新庁舎建設についてプロジェクトチームを設置し、仮庁舎の修理も含め総合的に検討する

期間中の建設を目指すとしており、施設、組織機構等を検討し、その上で庁舎建設となるが、今の厳しい財政状況下での検討チームを設置する考えはない。

問い 都会地へ雲南市の直販店をつくり情報発

市長 指定管理者制度

問い 新庁舎建設についてプロジェクトチームを設置し、仮庁舎の修理も含め総合的に検討する

信と販路拡大の考えはないか。

産業振興部長 当都都市部でのイベントに参加し特産品の販売や地域の情報発信を行い、市民の所得向上につなげたい。



リッチモンド・サマースクールの参加者

問い 集落営農組合は集落の農地維持に大きな役割を果たしている。集落を守るためにも営農組合の育成、強化が必要と思うが考えと対策、法人化への指導はどうか。

産業振興部長 集落営農組合組織を積極的に推進していきたい。県単独事

業のいきいき営農推進事業で対応していく考えだ。平成21年まで行われる中山間地域等直接支払制度を利用し農業生産法人設立を推進していく。

問い 指定管理者制度導入と、第三セクター見直しによって効率性、採算性の考えが重視されれ

ば周辺地域の第三セクター、各施設の存続はどうなるのか。今回のことが廃止の引き金にならないか。

市長 効率的、効果的な運営を図るためであり、地域に不利益、サービス低下にならないよう、適切な管理運営の手法を探

つていきたい。

問い 県内各市は韓国と姉妹縁組、文化交流を行っているが、雲南市は交流の考えはないか。交流組織の結成が必要と思うが考えはどうか。

市長 国際交流は積極的に推進していきたい。韓国との交流組織は必要と思うので検討していく。



吉田町 岡田 盛行 議員

集落営農組合の育成はかれ 答いきいき営農推進事業で対応

問い 地区の事情、周辺部の意見も多様であり、それぞれが尊重されるべきで、中心部の理論の一方的な押しつけがあつてはならない。

今年度の普通建設事業費は掛合が2億4,000万円弱で一番少ない。

他地区は4倍から10倍の事業費で推進中で、あまりにもアンバランスで一体化の思いがない。

周辺部は土地資源と60〜70代の人材の活用で農と食の総合産業化を図ることが定住対策として有効と考える。期待する11

月発足の産業振興センターの権限と責任、執行体制はどうか。また雲南病院へ簡単に行ける公共交通の見直しは。

市長 掛合は統合小学校、コミュニティ拠点施設の整備を年次計画で行う。



掛合町 加藤 一成 議員

周辺部の活力が新市の発展に 答耳を傾け同じ目線で話し合う

産業振興センターの権限は雲南市に帰属し、産業振興会議は市長を中心として非常勤アドバイザーも設置していきたい。公共交通の見直しについては、現在バス交通計画案の詳細を固めつつある。



掛合統合小学校建設予定地(旧掛合中学校跡)



八俣の大蛇観光ルートの考えは

答 積極的に情報発信する

木次町 金山 寿忠 議員

問 産業振興センターは何を重点に行うか。

市長 地場産業の振興、企業間交流、情報発信、新産業の創出、人材育成、企業家支援、企業誘致等を重点に行う。

問 貸し工場の設置は。

市長 空き工場を紹介し対応する。
問 木質バイオマスプレット燃料ストーブの導入と普及の考えはなにか。
市長 関係部署で調査して対応する。

問 八俣の大蛇観光ルートと「雲



観光に一役「棚の屋神楽」

南市さくらの会」の振興をどう考えるのか。

市長 八俣の大蛇観光は、観光素材として積極的に情報発信を行っていく。

産業振興部長 これまでの木次さくらの会から、雲南市さくらの会になり、広く会員を募集し、市内全域で桜の振興を図る。

問 クラシック島根（掛合ゴルフ場）の現状と課題はどうか。
内田助役 県下のゴルフ場の中で最も厳しい状況にあり、一層の集客の増加が必要である。
問 指定管理者制度と第三セクターについて。
政策企画部長 同種の施設を管理運営する法人、事業は原則統合する方向で検討をしている。



クラシックでプレーする少年たち



七月豪雨対策万全だったか 答 業務が集中 改善はかる

大東町 細田 実 議員

問 広大な雲南市の災害対策は、雨量などの情報や被害状況を的確につかみ対策をたてるのが重要だ。7月1日夜から2日未明の豪雨にどう対策がとられたか。また今後への教訓は何であったか。

総務部長 大東地区に局地的な雨量であり災害も集中した。そのため大東総合センターに業務が集

中した。こうした反省にたち9月6日の14号台風では警戒本部を設置し、全部署、総合センター、健康福祉センターに職員を待機させ警戒態勢をとった。

かかる維持管理費はいくらかかるのか。
市長 電子処理による行政手続が多くなり、便利さの向上、地域の一体化に貢献する。

問 住基カード多目的利用の予算6,000万円が提案されているが、費用対効果からも効率の悪い事業で実施は疑問だが、来年度から多目的利用に

企画政策部長 維持管理は機器の構成によって違いもあるが、500万円程度である。データ接続によっては金額が上がる場合もある。



7月豪雨災害状況（大東町山王寺地内）

子育て世代に資金援助の考えはないか 現在の状況下では難しい

三刀屋町 内田 郁夫 議員



問い 3歳児まで家庭で子供を育てたい世代に養育費の援助、税金の免除等の考えははいか。
市長 国においても、現行の扶養控除など育児支援策を見直し、育児保険制度等の創設も検討されている。今後国等の新たな施策に対応し子育て環境の充実に努めたい。ちなみに、0歳児88%、1歳児63%、2歳児53%が家庭で育てられている。

問い 学力低下の心配もだが、心豊かな人をつくる教育が必要ではないか。
教育委員長 勿論すべての子供と言う訳ではないが、一つには学力の低下、二つには自己中心の衝

動的な子供の存在、三つ目に反社会的あるいは非社会的な問題行動等がある。学校教育の力を強め、地域や家庭が共通認識に立つて豊かな人間形成に取り組み体制づくりが大切だ。

問い 法改正により、来年6月から一般住宅への火災警報器設置義務が生ずるが、市として火災警報器の斡旋、設置に対し補助は出来ないか。
総務部長 消防署など関

係機関との協議、他の自治体の動向、雲南市の財政状況等を踏まえながら判断する。

問い 火災警報器設置義務は詐欺等の対象になりやすい。早急に防ぐ対策をとれ。
総務部長 悪徳商法は雲南市でも昨年699件の相談があつている。警報器設置に関し訪問販売は想定される。雲南消防署を中心に消防団等の協力をえて広報、啓発活動

行つ。また、警察等関連機関と連携を図り、トラブル防止に努めたい。



大東町 山崎 正幸 議員

公共交通の効率化急げ 答 基準を示し効率的運行に

問い 産業振興センターに専門的職員の配置、また、民間出身専門家を登用する考えはないか。
市長 フットワークのよい職員を養成し、民間出身者を登用し本市の産業振興に大いに貢献できるセンターの構築に努め

ていきたい。

問い 市民にとって必要不可欠な公共交通の効率的運営の考えは。
政策企画部長 現在運行している路線の廃止等大きな変更は困難であるが、便数の変更や更新時に適切な規模の車輛に変更し

てニーズに応じた運行方式を検討し効率化に努める。

問い 教育委員会の予算入力の端末処理をそれぞれの教育施設で実施すべきと思うがどうか。
政策企画部長 未接続の11の施設については、財政状況等を勘案し、機器の更新時期も見計らい計画的に整備をしていく考えである。

る。

問い 土地取引の円滑化や、公共事業や災害復旧の効率化につながる地籍調査の今後の計画について聞く。
市民部長 重要課題と認

識し国、県の財源また、実施体制を踏まえ、地元体制の条件が整った地区から調査をし地籍図をすべての事業に有効活用する。



防災無線の整備を急げ

答 他の手段を含め検討を

三刀屋町 星野 智議員

問い 地震防災マニユアル作成の考えはないか。

総務部長 今年度、地域防災計画を策定する。

問い 食料や水など、災害物資の備蓄計画はあるのか。

総務部長 現在備蓄計画は策定していない。万一の場合県関係機関の支援を得なければならぬと考えている。

問い 全地域を防災無線で放送できる体制にできないか。

総務部長 膨大な経費が見込まれることから、他の情報伝達手段も含めた検討を進めている。

問い 災害対応型自動販売機、設置の考えはないか。

総務部長 設置の方向で考えたいと思っている。

問い 市民参加による災害避難訓練計画はないか。

か。
総務部長 来年度以降、自治会等の協力を得ながら計画的な実施を考へる。

問い 未成年者の飲酒対策の取り組みはどうか。

教育長 保健体育の授業で飲酒、喫煙の防止について指導している。

問い 酒害者への市としての協力体制はどうか。

健康福祉部長 保健師が随時対応をしている。断



災害は事前対応で防げ

答 国の基準で整備する

大東町 安原 重隆議員

問い 雲南市の人口構成は、50年前と比べ年少人口が大幅に減少し、老年人口が増加を示している。行政は将来を見越した計画と対応が求められ

るが見解は。

市長 雲南市の人口を5万人にすることの施策を講じる必要がある。定住人口・自然人口の増加対策に積極的に取り組む。

問い 食の安全、健康面、自給率などさまざまな視点から食育基本法が施行された。人を良くする食。雲南市は安心、安全の食の宝庫だ。また、雲南市にはすばらしい景観があり、住民も景観作りに取り組んでいる。

この「食」と「景観」に徹底的にこだわりの市全体のまちづくりの指針とすべきと考えるが、市

長の見解を伺う。

市長 雲南市では食の安心・安全の取り組みが盛んである。地域の特性を活かした食育基本計画にしたい。また、景観づくりも地域の特性に即した景観形成に努める。また、総合振興計画策定にあたり「安全・安心・美観」の視点から検討する。

問い 災害など緊急時の通報をする防災無線、

は300ミリ弱で、大東町が約6割の被害であった。川を見ると中州に雑木が茂り、ゴミが引っかかっている現状だ。この除去整備は自治会から地域要望として出ているが整備は行われるのか。災害対策以前の問題としての道路及び河川基盤の整備計画を示せ。

建設部長 道路・河川・堤防等の整備は、国土交通省の建設基準に基づき設置している。寄州の撤去、除草等は国・県・市とも計画的に実施している。今後とも国の基準に基づき整備を進める。

食と景観の地域づくりを

答 地域の特性を活かし検討する

木次町 藤原 政文議員

有線放送設備が老朽化し、早急な整備が必要である。市内一円をカバーするネットワークを構築する考えは。

総務部長 防災面からは、無線の整備が最も有効だが、民間のFM放送も含め、財政状況を勘案し、総合振興計画に併せて検討する。

7月の豪雨による災害状況が報告された。吉田町、掛合町で降雨量300ミリ以上、大東町

国は300ミリ弱で、大東町が約6割の被害であった。川を見ると中州に雑木が茂り、ゴミが引っかかっている現状だ。この除去整備は自治会から地域要望として出ているが整備は行われるのか。災害対策以前の問題としての道路及び河川基盤の整備計画を示せ。

国は300ミリ弱で、大東町が約6割の被害であった。川を見ると中州に雑木が茂り、ゴミが引っかかっている現状だ。この除去整備は自治会から地域要望として出ているが整備は行われるのか。災害対策以前の問題としての道路及び河川基盤の整備計画を示せ。

国は300ミリ弱で、大東町が約6割の被害であった。川を見ると中州に雑木が茂り、ゴミが引っかかっている現状だ。この除去整備は自治会から地域要望として出ているが整備は行われるのか。災害対策以前の問題としての道路及び河川基盤の整備計画を示せ。

国は300ミリ弱で、大東町が約6割の被害であった。川を見ると中州に雑木が茂り、ゴミが引っかかっている現状だ。この除去整備は自治会から地域要望として出ているが整備は行われるのか。災害対策以前の問題としての道路及び河川基盤の整備計画を示せ。

国は300ミリ弱で、大東町が約6割の被害であった。川を見ると中州に雑木が茂り、ゴミが引っかかっている現状だ。この除去整備は自治会から地域要望として出ているが整備は行われるのか。災害対策以前の問題としての道路及び河川基盤の整備計画を示せ。



ターゲット・パードゴルフ大会（加茂町）

問 中山間地域等直
接支払い制度への対応は、
農地の荒廃防止等だけで
なく、営農組合結成等に
も活用すべきと考えるが、
市長 中山間地域活性
化に大きく貢献する制度
と期待している。

産業振興部長 新規取り
組み25、廃止9、市全



吉田町 岩田 隆福 議員

ライスビル早期建設を 答総振に盛り込み実現する

体で234集落の協定書
が提出されている。集落
営農推進、法人化は直接
支払い交付金の法人加算
もあるため、雲南市担い
手育成総合支援協議会
(仮称)を年度中に設立し、
支援していく。

問 ライスビルまた
はカントリーエレベータ

ーの早期建設は、米の有
利安定販売に不可欠であ
り、厳しい産地間競争に
勝つため、総合振興計画
に盛り込んでできるだけ
早い建設を。

市長 ライスビルまた
はカントリーエレベータ
ーは、米の品質を整える
均質化装置や、品質ごと

に個別に管理するラック
倉庫機能を有する等、米
の安定販売に欠かせない
施設だ。全国各地で整備
されつつある。売れる米
づくりの主要戦略として
多額の事業費を要すが、
総合振興計画に盛り込み
実現する考えである。



加茂町 加藤 欽也 議員

PFI 勉強会の立上げは

答内容を十分研究したい

問 公共事業を実施
するに当たり財政非常事
態のこの時期にこそ、
PFI 導入の勉強会を
立上げ研究してみてもど
うか。

市長 PFI 制度の内
容について積極的に十分
に研究したい。

問 市民バス運行業
務はどのように統合・一
元化するのが。生徒の安
全・保護者の負担軽減の
ためにも、高校生の部活
の終了時間に合わせた運
行時間の見直しは。

政策企画部長 指定管理
者制度の適用について県

の統一的な見解を踏まえ
早急に決定し、運行業務
のサービス向上、経費削
減を図りたい。運行時間
は関係者で協議の上で設
定する。

問 ターゲットパー
ドゴルフ全国ふれあい大
会の対応と、利用料の値

下げ、今後の管理運営は。
教育長 加茂町TBG
協会を中心とした実行委
員会が主催で多くの来賓
を迎え盛大に開催される
ことを願う。

使用料については積極
的に施設を利用するため
の料金設定は必要で、他
の施設とのバランスを考
慮し検討したい。管理運
営については指定管理者
制度の導入を含め検討し
たい。

注・PFI
プライベート・
フィナンス・イニ
シアティブの略
民間活用によ
る公共施設等の
建設維持



早期建設が望まれるカントリーエレベーター（JAくにびき）



職員の自発性を活かした行革を

答 志気を高める環境を作る

三刀屋町 藤原 信宏 議員

問 新市の自立に向けた行革推進の鍵は、行政事務のプロである職員が握っている。職員の自発性を喚起して志気を高め、能力・適正を行革やまちづくりに最大限に活かしていく仕組みとして、

①人事異動における自己申告制度②職員の提案制度③行政評価制度の導入・制度化を図りたい。

市長 活力ある自治体として発展するためには職員のやる気、活力があつてこそである。提案の三点について実施の方向で進めたい。職員間、役員との意思の疎通が図れる職場づくりに努める。

問 アスベスト被害への不安は募る一方である。国県との密接な連携のもとに相談窓口を充実し、健康被害調査の実施、備品や機器を含む全ての

公共施設を調査点検し、該当施設にあつては処理方針、実施時期と共に具体的に公表して、早急に対策を講じられたい。

市長 既に住民相談窓口を開設し、公共施設の調査結果についても公表

して、一部詳細調査中である。雲南病院においては疾患検診も行っている。国県の指導、方針に基づいて対応していく。



指定管理者サービス低下不安

答 サービス低下の導入は無い

大東町 足立 昭二 議員

問 公の施設における指定管理者制度導入について、昨年12月議会にもたりましたが、住民サービスの低下、利用料金の安易な値上げ、雇用問題などの不安がある。こうした問題をどう払拭する

のか。

市長 コスト削減と、あくまでも住民サービス

の向上、質の高いサービスを提供するための指定管理者制度の導入だ。両立する確信がないかぎり、導入しない。雇用も現在、就業している方の職が失われるようなことがあつてはならない。

問 住民基本台帳カード(住基カード)の独自領域を利用しての地域

度な守秘対策が施されて



アスベストの対策は

答 調査の公開・窓口相談で

加茂町 松浦 保潔 議員

問 アスベスト対策①雲南市の公共施設の機械器具の調査結果は。

総務部長 学校給食の器具には使用されていない。②相談窓口の件数内容は。③健康診断の対応は。④対策本部設置の考えは。⑤調査結果の公開は。

総務部長 公立雲南病院で健康診断が出来る。②雲南市での林業活性化対策の助成措置の考えは。

市長 緊急間伐推進団地の策定、利用間伐奨励事業を行っている。又斐伊川流域林業活性化センターの関係者にも木次町内の山林を見て頂き建築用材のPRも行った。

問 森林対策①県民再生の森事業の条件で水源地域内とあるが理由はなぜか。又、それ以外での採択は無いのか。

市長 保水力豊かな森をつくり上げる理由で水源地域内となっている。

いる。外部監査も情報漏えいに影響する問題はなかった。住基ネットシステムの個人情報保護対策は万全を期して進める。

市長 住基カードは高度な守秘対策が施されて

れると断言できるか。

問 森林は水源涵養、二酸化炭素の吸収、新鮮な酸素の供給、そして資産としての木材の生産等多面的な効用を持つものである。市としての今後の森林整備計画は、**産業振興部長** 森林整備の保育事業については、間伐事業に重点を置いて利用間伐の推進を図り、利用間伐を行う必要がある箇所に作業道の開設を



**市内全域に防災行政無線を
答 FM局委託を含め検討する**

木次町 堀江 治之議員

行っていく予定である。

問 雲南市の防災対策として、今年度防災会議を設置することとなっているが、そのメンバー構成は、又市内全域に防災行政無線の導入は考えられないか。

市長 防災会議のメンバーは、雲南市防災会議条例により決まっていますが、まだ委嘱をしていないので、早急に対応する。

政策企画部長 広報あるいはケーブルテレビ、インターネットを活用しながら、情報は積極的に提供する。

又防災行政無線については、FM局への委託を含め検討する。

問 地域委員、地域自主組織に関する、現況等市民に対する十分な広報が必要と考えるが、どう対応するのか。

市長 防災会議のメンバーは、雲南市防災会議条例により決まっていますが、まだ委嘱をしていないので、早急に対応する。



間伐材搬出作業（掛合町）



総合防災訓練（斐伊川河川敷）



**固定資産税率の統一について
答 税負担のあり方を検証する**

加茂町 深田 徳夫議員

問 固定資産税率の早期統一だけが一体化ではない。合併協定を遵守すべきだ。賦課方式の基準統一が先。

市長 財政計画に併せ3年以内に統一したい。行政サービスの質と量に見合う税負担のあり方を検証、市民に理解を得たい。

問 都市の再生計画が大幅に見直されている住民との協議は、炎の芸術館の建設着工年度はいつか。

市長 財政危機から費用対効果を検証し取捨選択した。変更は速やかに説明する。炎の芸術館は20年度に着工する。

問 合併して地域が一緒におこなう行事がない。農道を利用し市民マラソンを合併記念事業として定着させてはどうか。



谷川真理さんと走る（大東陸上80回記念大会）

市長 市内でいろいろなマラソンがある。体育協会などで市民体育大会も含め協議を願う。

市長 包括支援センターは、国の基準で2ヶ所、既存の在宅介護支援センターは無くなる。相談窓口等詳細は運営協議会で検討、公共施設の有効活用も地元と協議の中で検討する。

一般質問のページは質問者本人の原稿をもとに広報委員会で編集しました。
また質問項目すべてを載せているものではありません。



議会広報

編集委員会研修

議会広報編集委員会では、8月25日・26日の2日間徳島県吉野川市、兵庫県南あわじ市の2市の議会広報の取り組みについて視察研修を行いました。研修では、2市とも昨年、町村が合併し、市となっており、市の規模や形態が本市と似てい



南あわじ市での研修

8月19日、大田市「あすてらす」で県内の市議会の議員が一同に会した研修会が行われました。研修会では佐々木信夫中央大学教授の「地方議会・議員の存在意義」と題した講演がありました。社会情勢の急速な変化に対応した地方議会の果たすべき役割と、地方分権の推



議員研修で講演する佐々木教授

島根県市議会

議員研修会

るところから、それぞれに状況説明し、意見交換を行い、「わかりやすい、紙面づくり」を心掛けることを再認識しました。

議会運営委員会

視察報告

進に伴う「議会のあり方」など、するどい提言がなされ、今後の議会の活性化に向けて、実のある研修となりました。

10月4日、5日滋賀

県長浜市を視察しました。

一般質問が一問一答方式で時間制限がない、6つの会派があり運営されている、市長は委員会へ必ず出席するなど、雲南市議会との違いもあり、参考にして議会活性化につとめていきます。



長浜市での研修

請願・陳情

審査結果

【採択されたもの】

協会会員の優先指名について

(陳情)

雲南市建築業協会会長 都間 隆

市内業者の優先指名について

(陳情)

雲南市建設業協会会長 荒木重利

西善寺地区急傾斜地崩壊対策事業の施工に関する陳情書

西善寺住職 多賀徹生

外3名

福祉医療に関する請願書

雲南圏腎臓病連絡協議会

代表者 白築敏邦

シルバー人材センターの組織整備に必要な財政支援並びにセンターの活用について(陳情)

社団法人 雲南市シルバー人材センター

理事長 石田 進

雲南市精神障害者通院医療費助成制度の継続に関する陳情書

雲南地域家族会連合会

会長 青山友行

外4名

【継続審査となったもの】

市道新市里方線の改良整備並びにJR木次線里方踏切の整備について(陳情)

新塔地区連合自治会

代表 30区自治会長 小林憲司

編集後記

和達のひるさと

「雲南」の語源知りたい

今定例会一般質問の中で、「雲南」の語源・由来は……との質問があり少々話題になりました。

新市の名称「雲南」、出雲の南ということくらいで明らかかな答弁はありませんでした。古くより馴染まれている「雲南」、文献では一横山祥介(後の黄仲祥)こと、幼少より絵画の才能あり、12・13歳、画人として有名にして、「画号」雲南を号す。我が住居たる三刀屋町は出雲の南に位置する故に……とあり、これが語源とすれば、今より170年余前の文化・文政の頃と思われる。

その後名声を博し出雲の南に「雲南」と呼ばれ遂に飯石、仁多、大原を雲南三郡と呼ぶようになった、との説である。

須佐之男の「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに……」、古事記に有名な歌もあり、その時すでに「雲南」の言葉がもしかして……いずれにしても雲南市の物語に興味深い問題です。皆さんはいかがでしょう。

議会広報編集委員会

- 委員長 板持 達夫
- 副委員長 石川 幸男
- 委員 吾郷 廣幸
- 青木 幸正
- 堀江 信真
- 藤原 信宏
- 細田 隆義
- 景山 隆義

発行：雲南市議会
編集：議会広報編集委員会
住所：雲南市木次町木次 1012-1